

橋

レポート

第4回 総社市高梁川新架橋整備方針審議会



次回、答申内容が決定

前回の審議会では、高梁川新架橋の整備、これは総社市全体から見て川西地区と川東地区が均衡のとれた発展をするための都市基盤の整備ということで、有効な手段であり、これからの都市支援となるものであるということが確認されました。このことを受けて、山田孝延会長（岡山県立大学デザイン学部学部長）と清水男副会長で協議した答申内容が、議題として提出されました。

事務局が、高梁川新架橋整備について、これまでの議会での議決の経緯と、高梁川新架橋整備方針に関わる論点の骨子について説明しました。論点の骨子は、交付金事業および合併特例債事業として補助採択を受けた事業であること、下部工事が完成していること、経済効果が見込まれること、企業誘致の促進に好影響があること、将来に渡り財政に深刻な悪影響をおよぼすことにならないよう、より一

層計画的な財政運営が必要であること、川西地区と川東地区が均衡の取れた発展をするために有効的な手段であることなどです。

この後、山田会長が答申内容となる高梁川新架橋の整備の方向性について発表しました。

委員からは、表現の意味の確認や、財政的には非常に苦しいのは分かっている、財政運営への配慮についてももう少し書き加えてもよいのでは、国道486号バイパスとしての整備との関連について整理してはどうか、コストの縮減についても言及すべきとの意見が出ました。

この日出された意見を基に、調整されたものが、次回の第5

回目の高梁川新架橋整備方針審議会にて、答申案として提示されることになりました。

審議会終了後、山田会長は、「答申の方向性は固まりました。橋自体を架ける架けないという一般論としては利便性の向上などいろいろと効果ももたらされるものですが、現在の財政事情を加味した場合に、どういう具合になるかということ、委員から意見もありました。それを受けて、今日の論点の骨子をまとめ、それを反映させた答申の案を、次回に出します。委員全員が合意した内容とするため、慎重に審議します」と話しました。

次回、新架橋の整備についての答申が決定します。



第4回 高梁川新架橋整備方針審議会

開催日 7月30日
場所 西庁舎301会議室
出席者 委員18人と市の幹部ら21人

問い合わせ 土木課土木係 (☎08291)

完成している左岸側の橋台



市内では、4台の救急車が稼働している。このうち、消防署の1台と、西出張所の1台は高規格救急車

はい、
119番です



救急車の正しい利用を

救急車は、命に関わるような重い病気やけがの人を、一刻も早く病院へ搬送する方法がない場合に利用するためのものです。しかし、現場へ到着すると、歩いて乗り込んで来たという事例がありました。件数自体は多くありませんが、総社市でも、こうした緊急性がないと思われる救急要請があります。一刻も早く救急車により病院へ搬送する必要がある救急事故は、いつ、どこで発生するかわかりません。病院までタクシーや歩いて行けるような人が救急車を利用すると、1分1秒を争う重症や危篤状態の人の搬送に支障をきたすおそれがあります。栢野豪警防課長は、「軽い症状の場合は、できるだけ自分で病院へ行っていただくなど、良識のある救急車の利用をお願いします」と、正しい救急車の利用に

- 心掛けてほしいと言います。
- ★救急車は、こんなときに利用しましょう。
- 1 屋内で起きた事故のとき。例えば、急病、やけど、ガス中毒などで緊急に搬送するための手段がない場合
 - 2 交通事故、駅などの屋外や、公衆の出入りする場所での、けがや急病など
 - 3 火事や地震、台風などの災害によるけがなど
- ★救急車が到着したら次のことを話してください。
- 1 救急安心カードがあるか、ないか（なければ持病、かかりつけ病院など）
 - 2 救急車が到着するまでの傷病者の容態
 - 3 応急手当の内容
- 問い合わせ 消防本部警防課 警防係 (☎08344)

火災と救急の概要

火災 件数は22件で、前年に比べ7件の増加です。種別では、建物火災12件と最も多く、次いで林野火災3件、車両火災2件などとなっています。特に、建物火災が4件、車両火災が2件とそれぞれ増加しています。

「たき火」や「たばこ」などの人の不注意によって生じる火災

火災・救急件数ともに増加 [平成20年上半期]

が多く発生しています。火の取り扱いに、より一層の注意をお願いします。

救急 出動件数は1125件、搬送人員は1093人となっています。これを前年同期と比べると出動件数は13件増加し、搬送人員では8人の増加となっています。

出動件数を事故種別でみる

と、急病が648件で最も多く、次いでその他（転院のための搬送など）183件、一般負傷134件、交通事故119件の順です。

また、市外の医療機関への搬送が増加し続けていて、出動件数全体の約68%を占めています。このため、救急車などの重複出動が増加し、現場到着が遅れる傾向にあります。